

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-176-417 (9:00～17:00 土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。
特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

- 公告の方法 電子公告(<http://www.saisoncard.co.jp/>)
- 上場証券取引所 東京証券取引所

『株主優待制度廃止のお知らせ』
2010年8月6日の当社取締役会において、株主優待制度を廃止することを決定いたしました。ホームページ(IR情報・最新のニュース8月6日)にて詳細は掲載しておりますが、改めてここにご報告し、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



BUSINESS REPORT

〈THE 61TH FISCAL TERM〉

写真・赤城自然園

クレディセゾングループの経営理念

私たちは「サービス先端企業」として

「顧客満足主義の実践」

「取引先との相互利益の尊重」

「創造的革新の社風創り」

の3点を共通の価値観として浸透させ

競争に打ち勝ち、お客様、株主の皆様

そしてすべての取引先の皆様の期待に添うように

チャレンジを続け社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆様へ

株主の皆様へ、当社の第61期中間期（2010年4月1日～2010年9月30日）決算につきまして、ご報告申し上げます。

政治・経済の混迷が続くなか日本経済は、企業収益の改善や個人消費が政府の経済対策により持ち直し傾向にあるなど、緩やかに回復しつつあるものの、雇用・所得環境は依然として厳しく、急速な円高や株価低迷により景気改善の動きが一時的に弱まるなど、厳しい環境下で推移いたしました。

クレジットカード業界は、貸金業法の完全施行や割賦販売法の改定が健全なマーケットの縮小をもたらすとともに、利息返還請求の高止まりが収益を圧迫し、創業以来最も困難な経営環境とも云える状況にあります。

このような環境のもとで当社は、クレジットカードを核とした決済領域の拡大や付加価値向上を目的とした経費構造の転換、カード会員資産とWEBサービスの組み合わせによる新たな事業の構築やファイナンス事業の強化など、新成長戦略の基盤づくりに邁進してまいります。

当中間期におきましても、貸金業法の影響によりキャッシング残高が前期末比11.3%減と激減するなか、アメリカン・エクスプレスとの提携を強化し、「センチュリオン」のデザインを使用した世界初となる新しいコンセプトのステータスカードを4種類発行、カードマーケットにおけるブランド戦略を強化してまいりました。さらに、ネットビジネスの強化として、オンラインショッピングモール「永久不滅.com」をカードをお持ちでない方にも開放し、成果報酬の更なる獲得を推進いたしました。また、債権リスクへの取り組み強化や費用対効果を踏まえた経費構造の見直し等、事業効率の向上にも努めてまいりました。

これらの結果、当中間期末のカード会員数は2,838万人（前期末比9万人増）、年間稼働会員数は1,455万人（前期末比22万人増）となりました。なお、資本提携カード会社を含めた当社グループ全体では、カード会員数は3,582万人（前期末比12万人増）となっております。

一方、リース&レンタル事業や「フラット35」の収益が堅調に拡大するなど、ファイナンス事業の推進による収益源の多様化にも取り組んでまいりました。

結果として当中間期における業績は、連結営業収益1,452億66百万円（前年同期比7.3%減）、連結経常利益176億26百万円（前年同期比8.0%減）、連結中間純利益99億66百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

厳しい経営環境ではありますが、当社は今後とも独立したノンバンクとして「サービス先端企業」を企業活動の原点に、みずほフィナンシャルグループをはじめ多くの企業と中立の立場で提携を進めるとともに、収益基盤の強化と新たな成長機会の追求に努め、企業価値の最大化を通じて株主の皆様のご期待に添えていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、セゾンカードとUCカードのご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2010年12月
代表取締役社長

林 野 宏



■CONTENTS

株主の皆様へ	1	中間連結損益計算書	5	CSR活動	8
第61期中間トピックス	2～3	中間単体貸借対照表	6	株式の状況	8
中間連結貸借対照表	4	中間単体損益計算書	7	会社概要	9

※今回の「営業の中間ご報告」では、第2四半期累計期間を中間期とする等の表記をしております。

カード事業トピックス

●アメリカン・エクスプレスとの提携強化(7月)

アメリカン・エクスプレスの象徴であるセンチュリオン(古代ローマの百人隊長)のイメージを使用した「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」を新たに4種類発行いたしました。

この新カードを軸に当社とアメリカン・エクスプレスは共同で中長期的なブランド戦略を展開し、日本での「アメリカン・エクスプレス」ブランドのカード発行枚数及び取扱高シェアの飛躍的な拡大を目指してまいります。



●ウォルマートグループとの新提携カード発行(9月)

ウォルマート・ジャパン・ホールディングス(同)及び(同)西友と新たに提携し、全国371カ所の西友、LIVIN、サニーで毎日、いつでも1%割引を受けられる「ウォルマートカードセゾン」を発行いたしました。ウォルマートグループが推進するEDLP(Every Day Low Price)路線に貢献していくとともに、ファーストカード化による売上拡大・収益拡大を目指してまいります。



●永久不滅ポイントを活用した新たなネットビジネス(9月)

セゾン・UCカードのネット会員専用オンラインショッピングモール「永久不滅.com(ドットコム)」は、本年9月より、カード会員以外の方々(16歳以上)にサービスを開放し、誰でも永久不滅ポイントを貯めていただくことができるサイトになりました。また、これまで別サイトで運営しておりました様々なアクションでポイントが貯まる永久不滅ポイント関連サービス(永久不滅オークション、永久不滅リサーチ、永久不滅コンテンツ等)を「永久不滅.com」と統合し、永久不滅ポイントがお得に貯まる「ポイントサイト」として新たにサービスを開始いたしました。今後は有力ネット企業との会員相互送客提携等を通じてネット会員及び収益の拡大を進めてまいります。



●セブン&アイ・フィナンシャル・グループとの包括的業務提携契約の締結(9月)

当社が強みとする豊富なプロセッシング経験やマーケティングノウハウと、日本最大級の流通グループの顧客基盤、顧客接点とを融合し、クレジットカードを軸に、電子マネー、共通ポイントサービスを複合的に提供してまいります。

両社で設立する合弁会社は、セブン&アイグループの顧客マーケティングの一翼を担うことを志向し、会員数1,000万人超、取扱高2兆円超を目指してまいります。

包括的業務提携の内容

- 1) (株)そごう・西武との提携カード事業の合弁会社化
現在当社が行っている本提携カード事業を、当社100%子会社(2010年9月17日に準備会社設立)に吸収分割の方法により承継させ(2011年4月1日予定)、(株)セブン&アイ・フィナンシャル・グループに準備会社の株式51%を譲渡いたします。
- 2) 合弁会社によるセブン&アイグループにおけるカード事業の展開
合弁会社と(株)セブン&アイ・フィナンシャル・グループの子会社である(株)セブン・カードサービスとのカード事業統合(2013年3月までを目途)や、セブン&アイグループ内の共通ポイントの導入等の詳細検討を今後開始いたします。
- 3) その他提携
当社とセブン&アイグループ各社との直接加盟店契約、双方の会員送客、保険商品の販売に関する協業、ネット事業連携、アジア事業展開等双方にとってメリットのある分野での協力についても、今後検討を進めてまいります。

●新B2B代金収納サービスの提供開始(6月)

ヤフー(株)との業務提携により、「Yahoo!ショッピング」「Yahoo!オークション」に出店する事業者がヤフー(株)へ支払う出店関連使用料の収納サービスを開始いたしました。Yahoo!サイトへの出店及び決済申込がオンラインで同時完結できるサービスで、出店者の事務作業を大幅に軽減することができます。本サービスをはじめとして、B2Bの決済領域の拡大を図り、新たな収益源の確立を目指してまいります。

中間連結貸借対照表

資産の部	
科 目	金 額
流 動 資 産	
現金及び預金	59,434
割賦売掛金	1,599,366
リース投資資産	219,216
営業投資有価証券	2,406
有価証券	5,000
販売用不動産	226,859
買取債権	13,423
その他のたな卸資産	1,257
その他	63,049
貸倒引当金	△115,142
流 動 資 産 合 計	2,074,870
固 定 資 産	
有形固定資産	61,247
無形固定資産	67,524
投資その他の資産	
投資その他の資産	123,092
貸倒引当金	△5,115
投資その他の資産合計	117,977
固 定 資 産 合 計	246,748
繰延資産	369
資 産 合 計	2,321,988

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

科目	金額	
営業収益		
クレジットサービス事業収益		117,371
ファイナンス事業収益		14,859
不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	17,870	
不動産関連事業原価	12,197	5,672
エンタテインメント事業利益		
エンタテインメント事業収益	40,661	
エンタテインメント事業原価	33,558	7,103
金融収益		260
営業収益合計		145,266
営業費用		
販売費及び一般管理費		120,130
金融費用		11,451
営業費用合計		131,582
営業利益		13,684
営業外収益		4,246
営業外費用		303
経常利益		17,626
特別利益		—
特別損失		1,892
税金等調整前四半期純利益		15,734
法人税、住民税及び事業税	3,835	
法人税等調整額	1,702	5,538
少数株主損益調整前四半期純利益		10,195
少数株主利益		229
四半期純利益		9,966

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体貸借対照表

[illegible]

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体損益計算書

負債の部	
科目	金額
流動負債	
支払手形	44
買掛金	182,831
短期借入金	238,844
1年内返済予定の長期借入金	107,182
1年内償還予定の社債	45,000
コマーシャル・ペーパー	170,000
1年内返済予定の債権流動化借入金	12,136
リース債務	818
未払法人税等	3,369
賞与引当金	1,327
役員賞与引当金	25
利息返還損失引当金	17,705
商品券回収損失引当金	179
割賦利益繰延	6,160
その他	28,175
流動負債合計	813,798
固定負債	
社債	200,000
長期借入金	639,257
債権流動化借入金	89,410
リース債務	2,616
退職給付引当金	2,291
債務保証損失引当金	4,354
ポイント引当金	64,418
利息返還損失引当金	15,625
受入保証金	1,045
負ののれん	912
その他	4,679
固定負債合計	1,024,611
負債合計	1,838,410

純資産の部	
科目	金額
株主資本	
資本金	75,929
資本剰余金	84,387
利益剰余金	162,442
自己株式	△5,828
株主資本合計	316,930
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	2,028
繰延ヘッジ損益	△2,097
評価・換算差額等合計	△69
純資産合計	316,861
負債・純資産合計	2,155,272

(2010年4月1日～2010年9月30日／単位:百万円)

科目		金額	
営業収益			
クレジットサービス事業収益			
包括信用購入あっせん収益	55,609		
カードキャッシング収益	37,929		
証書ローン収益	1,101		
業務代行収益	7,804		
クレジットサービス関連収益	3,854	106,300	
ファイナンス事業収益			
リース収益	7,214		
信用保証収益	5,016		
ファイナンス関連収益	983	13,214	
不動産関連事業利益			
不動産関連事業収益	251		
不動産関連事業原価	235	15	
金融収益			2,881
営業収益合計			122,411
営業費用			
販売費及び一般管理費		101,095	
金融費用		10,221	
営業費用合計			111,317
営業利益			11,094
営業外収益			2,138
営業外費用			121
経常利益			13,111
特別利益			—
特別損失			1,240
税引前四半期純利益			11,870
法人税、住民税及び事業税	3,450		
法人税等調整額	1,922		5,372
四半期純利益			6,497

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

赤城自然園

当社は「赤城自然園」の運営を通じて、多くの子供たちに自然のすばらしさを体験する場を提供し、豊かな日本の自然を次世代に引き継いでいく活動に取り組んでおります。

4月の開園以来、首都圏を中心としたツアー企画や、フォトコンテストなどの協賛企業主催イベント、近隣の幼稚園児や小学生を招いた自然観察会などを開催し、より広く多くの皆様に自然に触れていただく機会を設け、累計の来園者は約1万8千人(9月末)となりました。また、6月から開始した永久不減ポイントによる寄付は9月までの累計で55万円となっております。

今後も当社の活動にご賛同いただいている企業のお力添えのもと、息長くこのメセナ活動に取り組んでまいります。





赤城自然園
Akagi Nature Park

赤城自然園概要

●面積：約120ヘクタール(約36万坪)、一般開設エリア約60ヘクタール(約18万坪) ●標高：600～700m ●位置：赤城山西麓

赤城自然園で確認された動植物

●動物：昆虫類1,810種、鳥類77種、哺乳類15種
●植物：木本類152種、草本類510種

赤城自然園の環境保全活動をサポートしていただいております。



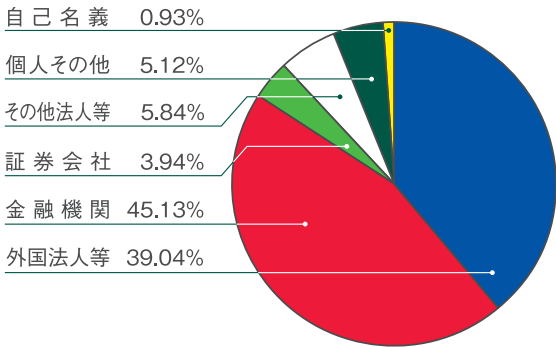
●永久不減ポイントで、赤城自然園の環境保全活動にご参加いただけます。詳しくはwww.eikyufumetsu.jpをご覧ください。

株式の状況 (2010年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式の総数 185,444,772株
- 株主数 17,682名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
(株)みずほ銀行	200,931	10.84
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	177,097	9.55
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	133,745	7.21
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	46,785	2.52
(株)みずほコーポレート銀行	46,755	2.52
(株)そごう・西武	41,000	2.21
NT RE GOVT OF SPORE INVT CORP P.LTD	37,597	2.03
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	35,421	1.91
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OMO4	33,434	1.80
GOLDMAN, SACHS & CO, REG	32,909	1.77

●所有者別株式分布状況



会社概要 (2010年9月30日現在)

- 商号 株式会社クレディセゾン
- 英文表記 Credit Saison Co.,Ltd.
- 設立 1951年5月1日
- 資本金 75,929,364,408円
- 従業員数 2,298名 他に嘱託、パート及びアルバイトの期中平均雇用人員は1,293名(1日7.75時間換算)
- 主要な事業内容
 - ① クレジットサービス事業…クレジットカード事業及びサービサー(債権回収)事業等
 - ② ファイナンス事業………リース事業、信用保証事業及びその他のファイナンス関連事業
 - ③ 不動産関連事業………不動産事業及び不動産賃貸事業等
 - ④ エンタテインメント事業…アミューズメント事業等

●本社 〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F

●役員	代表取締役社長 林野 宏	取締役 山本 寛	常勤監査役 富澤 宏
	代表取締役副社長 前川 輝之	取締役 覺正 純司	常勤監査役 櫻井 勝
	代表取締役専務 山本 敏晴	取締役 山下 昌宏	常勤監査役 松本 康太郎
	専務取締役 高橋 直樹	取締役 平瀬 和宏	監査役 土岐 敦司
	常務取締役 鈴木 秀敏	取締役 清水 定	
	常務取締役 金子 美壽	取締役 松田 昭博	
	取締役 山路 孝眞	取締役 山本 恵朗	

至高のサービス・圧倒的なポイントプログラム。
セゾンカード革新のラインナップ。



PLATINUM
¥21,000 Tax Included
“Invitation Only”



GOLD
¥10,500 Tax Included



BLUE
¥3,150 Tax Included



PEARL
¥1,050 Tax Included
初年度無料、ご利用で翌年度無料

NEW SAISON AMERICAN EXPRESS® CARD

詳しくは www.saisoncard.co.jp/amextop/

セゾンインフォメーションセンター ☎ 0570-064-133 (9:00～17:00 1/1休み) ※PHS、国際電話、IP電話をご利用の場合は、03-5996-1111 / 06-7709-8000におかけください。